

## GSCOシラバス

【科目区分:日付】教育系基礎:9/24(日) 2限	【科目 No】311-1
【科目名】 多彩な季節感を育む日本の気候環境(シベリア高気圧の季節的発達を例に)	【授業担当者】
【科目名(英語名)】 Climatic Environment around Japan and the Variety of “Seasonal Feeling”	加藤 内藏進
<b>【授業の目的】</b> 梅雨や秋雨を含む六季で特徴づけられる日本付近の詳細な季節サイクルの気象学的把握は、「気象災害に繋がる極端現象が生じる背景」と「多彩な季節感を育む文化生成の背景」の双方を深く理解するための『共通のベース』になります。そのような観点から、今回は、シベリア高気圧の季節的発達を例に、日本の季節を探究する視点を学びましょう。最後に、時雨を詠んだ和歌も参照しつつ、「科学的な眼」と「感覚的な眼」の双方から日本の多彩な季節サイクルの一端を捉えましょう。	
<b>【授業内容】</b>  1. 日本の季節サイクルの概要(モンスーンアジアの中で) 2. 日本の冬の気候系 シベリア高気圧とシベリア気団, 日本海側の雪と日本海の役割, 等 *コリオリ力等, 現象の過程を考えるための基礎的事項の, ごく簡単な概説も含む 3. 秋から冬にかけてのシベリア高気圧の季節的発達の把握 *秋から冬にかけての毎日の地上天気図の読み取りに基づく, 簡単な実習も含む *シベリア気団の季節的進行との事実関係も把握 4. 初冬の季節感(時雨を詠んだ和歌にも目を向けて) 5. おわりに	
【テキスト】	
【参考図書】	